

# 有川捕鯨関連文化遺産

## ～鯨見山と鯨供養碑、海童神社、弁財天宮、原真一顕彰碑～

長崎県／新上五島町



有川の捕鯨の歴史は、慶長年間に始まったといわれ、約400年の歴史を持つ。元禄4年(1691年)江口甚左衛門正利による有川鯨組が創業され、鯨見の番人が鯨の状況を見張る山であったのが鯨見山である。山頂付近には、甚左衛門が建立した捕鯨実績を刻んだ「鯨鯨供養碑」と「夜明」「十一面」の二観音石仏がある。

海童神社は、海難事故が多発したことをきっかけに、元和6年(1620)に龍神様を海童神として祭ったことを始まりとする神社である。鯨の顎骨で作られた鳥居が有名で、捕鯨で栄えた有川を象徴する建築物である。

弁財天宮は、約300年前、江戸時代の初期、五島藩有川と富江藩魚目が有川湾の海境争いの際、甚左衛門が江戸公訴の道中に鎌倉弁才天に勝訴祈願をしたところ、有川側の勝訴で決着したことから、その分霊を守り神として祭ったお宮である。正月14日には「弁財天祭り」が開催され、鯨唄が奉納される。

近代捕鯨の時代に入ると、有川出身の原真一は、有川を基地に東洋捕鯨(株)によりノルウェー方式捕鯨を操業。地元への貢献により、顕彰碑が建てられている。

### TOPICS

- ・五島有川くじらどん祭り 毎年10月最終日曜日 開催
- ・鯨肉販売、五島うどんほか地元特産品などの即売

### お問い合わせ先

新上五島町役場水産課

●TEL／0959-53-1111

●URL／<http://k101ow01.town.shinkamigoto.nagasaki.jp>

【交通】

●徒歩／有川港から5分

